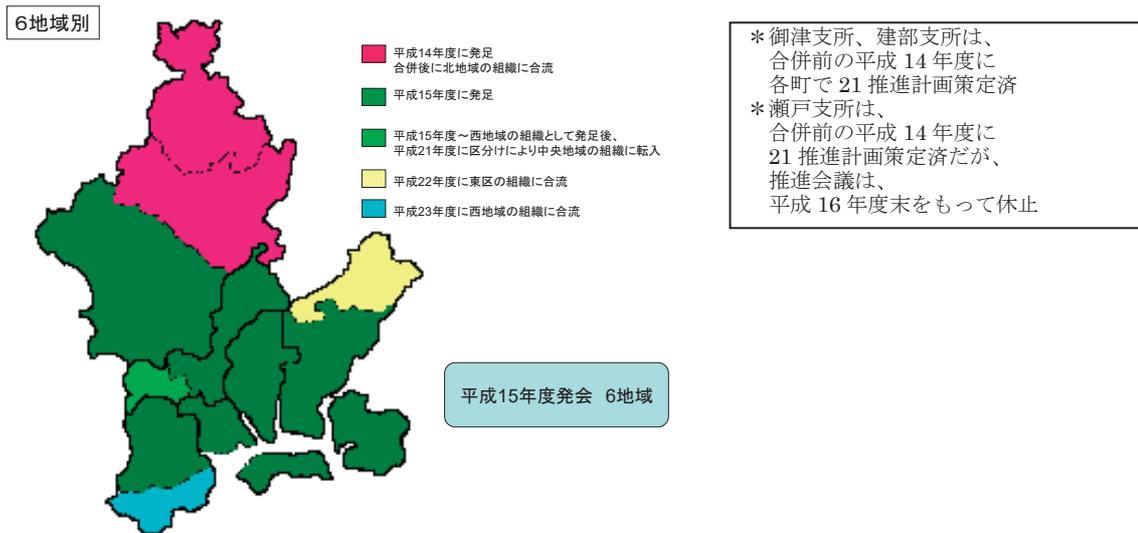


## (5) 基本方針（市民主体の推進体制、地域連携の健康づくり）に関する成果

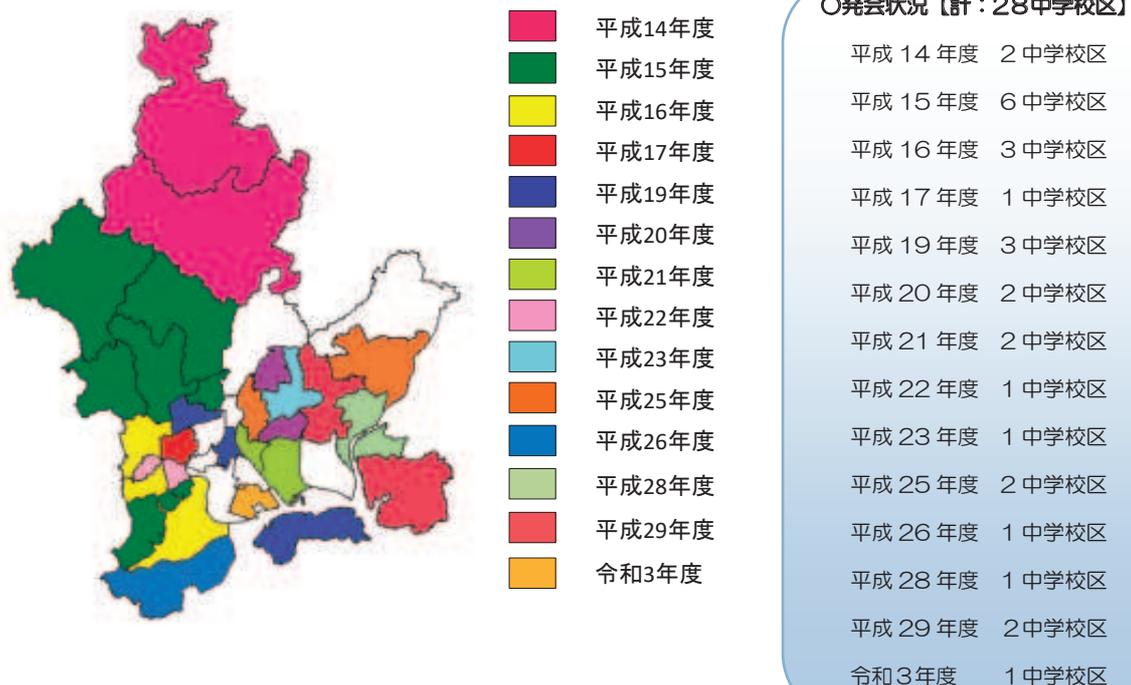
### 1) 地域のネットワークの広がり（推進体制の整備：推進組織地図）

地域で健康市民おかやま21を推進するために、平成15（2003）年度に6保健センター単位で6地域の推進会議を設置しました。また、より住民に身近な小単位の組織づくりを目指し、令和4年（2022）度までに中学校区単位27か所、小学校区単位21か所（現在活動中）に推進組織ができました。

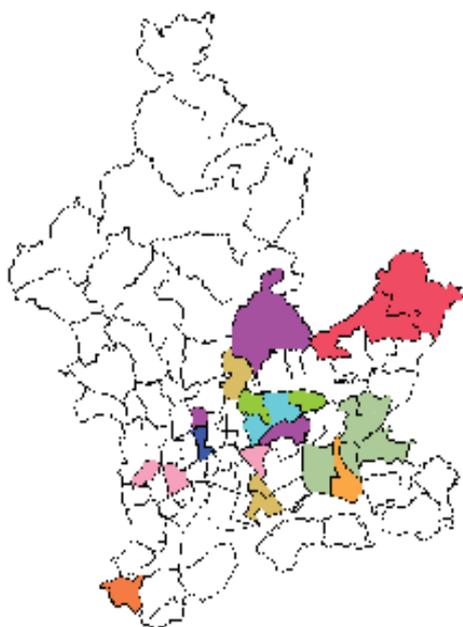


### <健康市民おかやま21推進組織の地域への広がり：中学校区>

#### 中学校区別



＜健康市民おかやま21推進組織の地域への広がり：小学校区＞



- 平成18年度以前
- 平成19年度
- 平成20年度
- 平成21年度
- 平成22年度
- 平成23年度
- 平成25年度
- 平成28年度
- 平成29年度
- 令和3年度

○発会状況【計：22小学校区】

平成 18年度以前	3 小学校区
平成 19年度	1 小学校区
平成 20年度	3 小学校区
平成 21年度	2 小学校区
平成 22年度	2 小学校区
平成 23年度	2 小学校区
平成 25年度	1 小学校区
平成 28年度	5 小学校区
平成 29年度	2 小学校区
令和 3年度	1 小学校区

推進体制の経過

		保健センターエリア	中学校区	小学校区
平成 15 年度	策定時	6	6	1
平成 19 年度	中間評価時	6	15	4
平成 24 年度	最終評価・第 2 次策定時	6	21	11
平成 29 年度	第 2 次中間評価時	6	27	21
令和 4 年度	第 2 次最終評価時	6	27	21

## 2) 組織関係図でみる地域でのつながりの強化

地域での連携状況やつながりの強化を見える化し評価するために、「健康市民おかやま21」の最終評価時から、「組織関係図」を地域の推進組織が作成しています。今回の第2次最終評価時も、中間評価時以降、地域で活動してきた推進組織が作成しました。

経年的変化を見るのみでなく、作成する過程において活動の振り返りや現状を把握し、課題や今後の活動を考えるきっかけとしています。中間評価以降、新型コロナウイルス感染症の流行で活動に大きく影響があったため、図に表せないことは、つながりの変化や、感想・成果、今後の課題にまとめました。

### 組織関係図作成組織（41か所：令和4（2022）年度末）

センター	組織名	センター	組織名
中央	いきいき元気大元21	東区	西大寺中学校区健康21推進協議会
	三門学区健康市民おかやま21		旭東健康21
	元気ハツラツ長生き岡輝21		山南健康を守る会
	吉備・陵南いきいき21推進委員会		政田学区健康市民おかやま21協議会
	みの健康21推進の会		すこやか上道推進委員会
	牧石学区健康21の会		千種学区健康21推進協議会
	健康みなんにし21		江西学区健康21推進協議会
	岡山中央中学校区		ヘルスタウンかいせい21
	石井中学校区健康市民おかやま21		西
北	北市民健康づくり京山会議	ふじた健康21推進委員会	
	北市民健康づくり中山会議	健康こうじょ21	
	北市民健康づくり香和会議	すこやか福田	
	北市民健康づくり高松会議	灘崎中学校区21推進会	
	北市民健康づくり足守会議	ひこさき健康21	
	北市民健康づくり御津会議	ストレッチ西の会	
北市民健康づくり建部会議	南	いきいき南グループ	
中区		富山学区健康市民おかやま21	
		東山中学校区健康市民おかやま21	光南台健康21の会
		操南中学校区健康おかやま21推進会	いきいき福南けんこう21
竜操中学校区健康市民おかやま21			
操山中学校区健康市民おかやま21			
高島・旭竜けんこう21			

## 組織関係図

### ～活動のひろがりを目でみえるカタチにしましょう！～

平成15年度に健康市民おかやま21がスタートしてから、地域で様々な組織・団体が連携をとりながら21に取り組んできました。現在どんな組織や団体が21に取り組んでいるのか、またそれぞれの組織・団体とどんな連携をとっているのか、など活動の広がりを目で見えるかたちにしましょう。

地域のメンバーで話し合いながらこれまでの活動を振り返り、今(令和4年度)の状況を図にしてください。

連携(つながり)の強さを矢印の線の太さで、連携(つながり)の方向を矢印の線の向きで示してください。

☆この組織関係図をつくる過程での、メンバーの話し合いを大事にしてください



#### ＜実施単位＞

任意ですが、中間評価時に実施した単位で実施すると変化がわかります。

(組織・団体数が多いと関係が複雑になり、図に描きにくくなります。)

#### ＜実施方法＞

- ★ 地域で21に取り組んでいる組織・団体を書き出し、それぞれ間に連携(つながり)があるところは矢印で示す
- ★ 矢印の線の太さで「連携(つながり)の強さ」を表す(下記の表を参考に)
- ★ 矢印の線の方向で「連携(つながり)の方向」を表す(一方的に働きかけている段階は片方の向きの矢印で示す)
- ★ 連携(つながり)の内容を記述し、番号をつけて線の横にも番号を記す(①21会議、②ウォーキング、③イベント など)
- ★ 実施後、作成した組織関係図をみての、実施メンバーの感想(これまでの成果、今後の課題ふくめ)を書いてください
- ★ 図は手書きで提出していただいても構いません。その際は矢印の太さのレベルがよくわかるように記載してください
- ★ 中間評価の時と比べ、つながりが変化したところは、その理由を可能な範囲で記載してください

#### ＜実施する上で参考にしてください＞

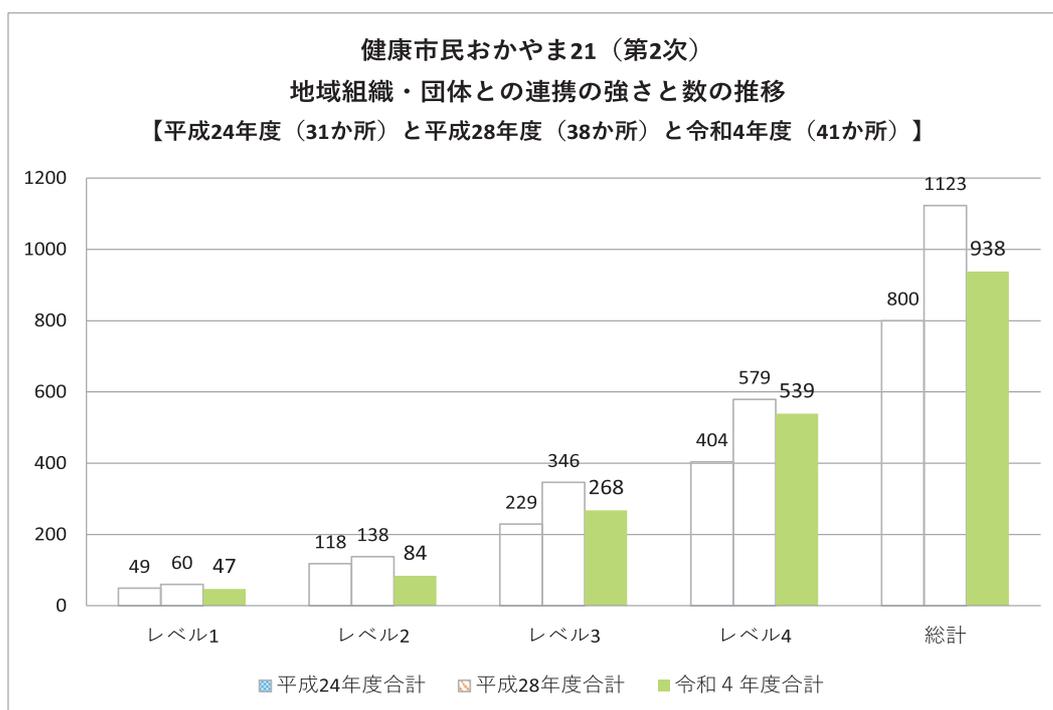
- ◆ 地域の21組織は図の中心に置いて、他の組織・団体との関係を記入していったほうが描きやすいようです。
- ◆ 実施前に、地域の中にある組織・団体(21組織と関係のあるもの)を付箋や紙の札などにみんなで書き出し、模造紙やホワイトボードなどの上で図を完成させていくと実施しやすいようです。

#### 矢印の線の太さの目安

線の太さ	線なし	← - - - →	←══════════════════→	←═══════════════════→	←═══════════════════→
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
段階の目安	まったく連携がない	はたらきかけているが、まだ連携はとれていない	徐々に連携がとれつつあるが具体的な取組はない	連携をとりながら単発のイベントや健康教育などしたことはある	日頃から連携がとれる関係であり、具体的な取組がある

## 組織関係図 レベル集計表

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	総計	組織数
平成24年度合計	49	118	229	404	800	31か所
平成28年度合計	60	138	346	579	1123	38か所
令和4年度合計	47	84	268	539	938	41か所



策定時（平成 24（2012）年度）からは増加していましたが、中間評価時（平成 28（2016）年度）よりは、連携の強さ、数ともに減少していました。その理由として、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。

つながりの変化として、コロナの影響で他団体との連携の機会が少なくなった、という組織が多くありましたが、活動の工夫でつながりを維持できた、という組織もありました。また、一方で今まで連携が取れていなかった団体と新しくつながりを持てた地域もありました。

今後の課題として、地域の強みを活かした活動を継続していくこと、特に学校園や働く人とのつながりを増やしていきたいという意見が多かったです。（次ページ参照）

## 組織関係図 作成後の地域 21 推進メンバーの感想

### 感想（成果） 一部抜粋

- ・学校とのつながりが深いところが強み。
- ・地域のつながりが元々強いところが強み。
- ・組織関係図の作成をきっかけに名簿や規約を作成。以前よりつながりが強くなった。
- ・コロナで活動ができなくても、定例会議を通して、つながりを維持・強化することができた。
- ・各組織の代表が自分の所属に持ち帰り PR ができ、つながりが維持できている。
- ・コロナ禍で、新聞の見直しを行い、記事の依頼をしたところ新たなつながりができた。
- ・声かけをきっかけに、連合町内会や医師会が定例会議に参加することになった。
- ・運動施設（スポーツパーク）とのつながりができた。
- ・OKAYAMA！市民体操に取り組み、保育園や地域のイベント等定着している。
- ・他団体とのつながりを発展させるのは難しいが、21の組織としては前向きに活動ができている。
- ・中学校とのつながり（防煙教室等）も維持・強化できていた。
- ・健康情報チラシを地域の薬局や医療機関等へ配布することでつながりが広まった。
- ・連合町内会から地域への波及効果は大きく、つながりが増えた。
- ・コロナ禍でもキーパーソンとの連携は絶やさなかった。
- ・防災活動を機会に、新たな機関・企業・大学とつながりできた。
- ・イベントを通して、新たなつながりが増えた。
- ・他地域の成功事例を参考に、企業連携を構築することができた。
- ・イベントに参加することで医療機関とのつながりができた。
- ・推進委員が他団体の委員となり、21をPRする機会が増えた。
- ・組織化できている地区、未組織のところ関係なく、組織を振り返る良い機会となった。
- ・つながりを俯瞰してみることもできた。
- ・視覚化することで記載のない組織に気づいた。
- ・地域の組織について知らないことを知ることができた。

### 感想（課題と今後やりたいこと） 一部抜粋

#### <課題>

- ・コロナの影響（イベントの縮小・中止）でつながりが弱くなった。
- ・小学校、こども園とのつながりの希薄になった。
- ・ええとこ発見図を通して、つながりができた組織もあったが、つながりが途絶えたところもある。
- ・若い世代や子どもたちが21の活動に参加する機会が少ない。
- ・イベントを通して、つながっていたところ（小学校・幼稚園保育園）とは希薄になった。
- ・世代交代で主要メンバーが交代し、つながりが弱くなった。
- ・コロナの影響で、他団体との連携の機会が少なくなった。
- ・目標となる大きな行事がなく、アプローチが難しい。
- ・個人同士でのつながりはあるが、組織としてつながっている実感がない。
- ・中学校との関わりがなくなった（命を育む、学校保健委員会）。
- ・『つながり』を個人の所属に任せていたことで、つながりが希薄になった（組織の脆弱性）。

#### <今後やりたいこと>

- ・園や学校を通じて、働く世代への健康づくりについて考えていきたい。
- ・学区内にできた新たな施設（福祉施設、保育園や認定こども園）へアプローチしていきたい。
- ・今後は中学校区とのつながりを深めていきたい。
- ・岡山大学生との連携を強化中（京山）。
- ・組織のつながりを増やしていきたい。
- ・イベントでの関わりが中心だった組織に、定例会議への参加を依頼していきたい。
- ・商工会とのつながりを再構築したい。町内会への働きかけを強化していきたい。
- ・OKAYAMA！市民体操をサロン等に広め、21を知ってもらいたい。
- ・組織同士で関係を強化できるよう取り組みたい。
- ・目的をもって、社会福祉協議会、地域包括支援センター、学校園とつながっていききたい。
- ・学区の特徴（高齢者施設が多い）から、医師会や薬剤師会と連携していきたい。
- ・若い世代からの健康づくりを進めていくため、こども園・学校などとつながっていききたい。
- ・それぞれの得意分野でつながりを増やしていきたい。
- ・まずは会の名前を地域に周知させたい。つながりを意識して、感謝して活動していきたい。

# 組織関係図と事例集（一部紹介）

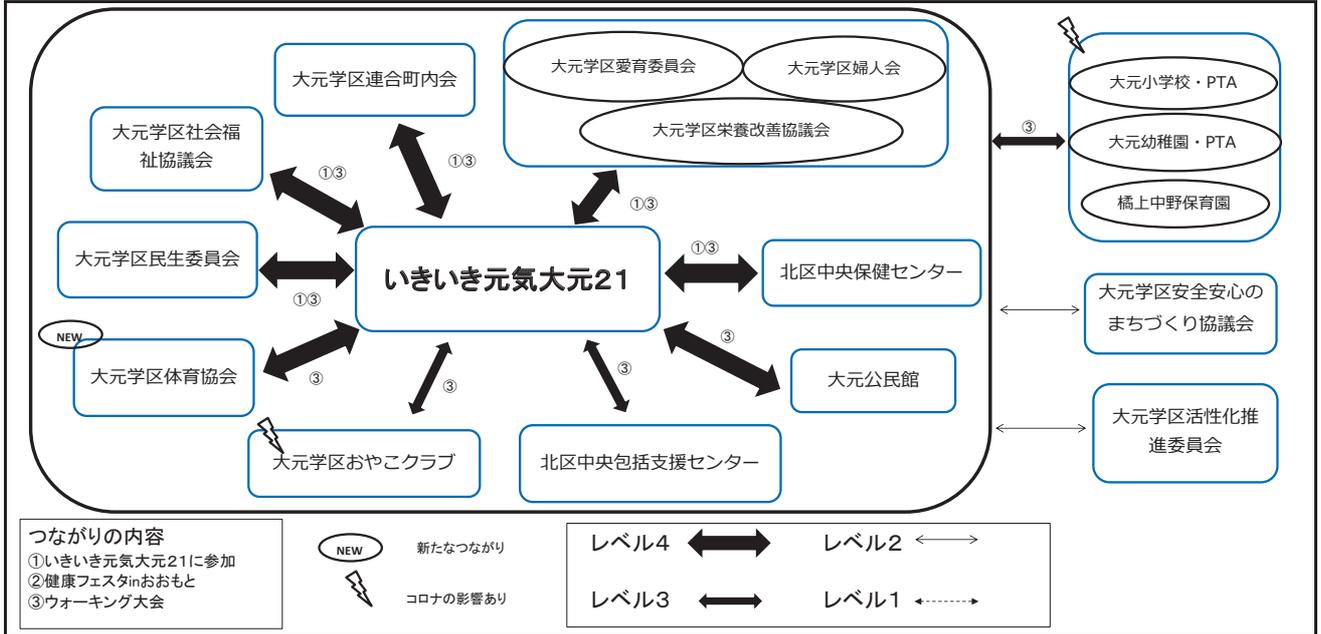
組織のつながりと活動がわかりやすいよう、組織関係図と一緒に事例集もセットで掲載しました。

（各地域1組織）

## 組織関係図

実施日（令和4年11月21日）

実施地域 大元学区 組織名（実施者） いきいき元気大元21 （北区中央）保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価（H26年3月時点）	0	10	3	16	29
平成28年度中間評価（H29年3月時点）	0	4	3	44	51
令和4年度最終評価（R4年12月末時点）	0	2	3	7	12

### つながりの変化

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、定例会議や健康フェスタを中止したため、イベントでつながっていた組織とのつながりはレベル4から3になった。しかし、ウォーキング大会の開催が決まり、少しずつイベントでのつながりが回復しつつある。

・体育協会は、今までウォーキング大会の開催時には協力を得ていたため、令和4年度からいきいき元気大元21のメンバーとして新たに入っていたこととなった。

※平成28年度中間評価までは、組織と組織間の繋がり数を挙げていたが、令和4年度の最終評価では、いきいき元気大元21と関係のある組織数に変更しているため、数の減少がある。

### 作成してみた感想、成果や今後の課題

・令和2年に前会長が亡くなられ、後任が決まらないうちに新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和2～3年はいきいき元気大元21の活動自体ができていなかった。この度、組織関係図の作成を機に、連合町内会や地区社協、愛育・栄養・婦人会、体育協会の代表者が集まり話し合いをすることができた。

・大元学区は普段から組織同士で連携がとれているため、活動を再開するとすればすぐに声をかけあい、様々な組織の協力を得ることができると感じた。

・今後は、イベント開催のための会議のみではなく、地域の健康課題を提示し、必要な活動を考えられるよう工夫する必要がある。

# いきいき元気大元21

テーマ：すすめよう！家族みんなの健康づくり

発足年月日：平成16年

健康寿命の延伸めざして活動中！



受動喫煙について、みんなで楽しく寸劇をしました。

お客さんからは「分かりやすかったよ」などの感想もありました。

大元学区を一緒に盛り上げていきませんか！

### メンバー

地区社会福祉協議会、連合町内会、民生児童委員会、スポーツ協会、婦人会・愛育委員会・栄養改善協議会、大元小学校、大元小学校PTA、大元幼稚園、大元幼稚園PTA、たちばな上中野保育園、学校薬剤師、おやこクラブ、市民ボランティア、大元公民館、北区中央地域包括支援センター、北区中央保健センター



ひとりで歩くより、楽しく感じました。

普段から知っている場所なのに、新しい発見もありました。

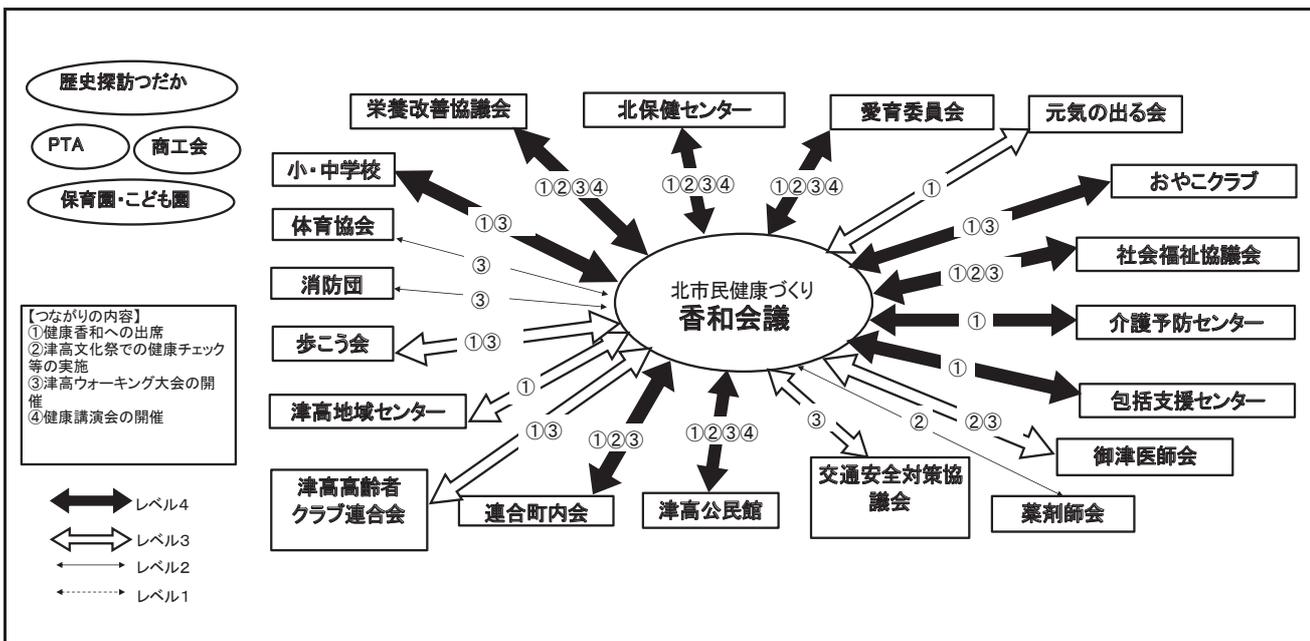
### …今後の目標…

子どもから高齢者まで、地域住民みんなが元気に幸せに過ごせるまちを目指します。

# 組織関係図

実施日（ 令和4年12月15日 ）

実施地域 香和中学校区 組織名（実施者） 北市民健康づくり 香和会議 （ 北区北 ） 保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成23年度最終評価（H24年3月末時点）	0	0	8	9	17
平成28年度中間評価（H29年3月末時点）	0	0	7	11	18
令和4年度最終評価中間評価（R4.12月末時点）	0	3	6	10	19

### つながりの変化

- ・公民館講座自体が廃止となったため、歴史探訪つだかは関わりがなくなった。
- ・小中学校ではコロナの影響で制約を受けているため、つながりが弱まっている。
- ・メンバーとして登録はあるが、定例会に参加する人が減った。

### 作成してみた感想、成果や今後の課題

- ・役員会・定例会の回数は減ったが、変わらず活動は継続できている。
- ・新たな組織とのつながりはなかった。コロナが収束したら途絶えつつある活動を復活させたい。
- ・定例会の参加者数や組織のつながりを増やしていきたい。

## 北市民健康づくり 香和会議

発足時期 平成19年度

### 津高文化祭

津高文化祭では健康チェックコーナーや地域の医師の健康相談の場なども設け、地域の方が自身の健康に目を向けてもらう機会にしています。



令和2年度  
コロナ禍ではパネル展示のみに変更

健康チェックコーナー



健康に関することが短時間で体験できたり、結果を持ち帰って振り返ることができる。  
→自身の健康に目を向けてもらう機会になる。

### 津高ウォーキング大会

毎年、それぞれの学区を持ち回りでコースを変えながらウォーキングしています。

野谷学区



自然の中を歩き、季節の変化が感じられる。

横井学区



馬屋上学区



住み慣れた地域を皆で歩くことで、地域の新たな発見や良さを再認識することにつながる。  
健康づくりのきっかけとなしてほしい。

### 健康講演会

地域で活躍されている方を講師に招き、健康に関する講演会を実施しています。

年度	健康講演会内容	講師
H30	認知症の世界におじゃまします	ゆうクリニック 柳田 公祐先生
H31	元気で長生きするために	岡山済生会総合病院 犬飼 道雄先生
R2	自宅のできるフレイル予防	運動指導員 水島 典子先生
R3	自宅のできるフレイル予防	岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科 教授 高戸 仁郎先生
R4	はじめるなら今！尿もれ予防講座	理学療法士 濱田 由紀先生



地域住民の健康意識を高めていくことにつながる。次世代の事も考えていけるような講演会にしていきたい。

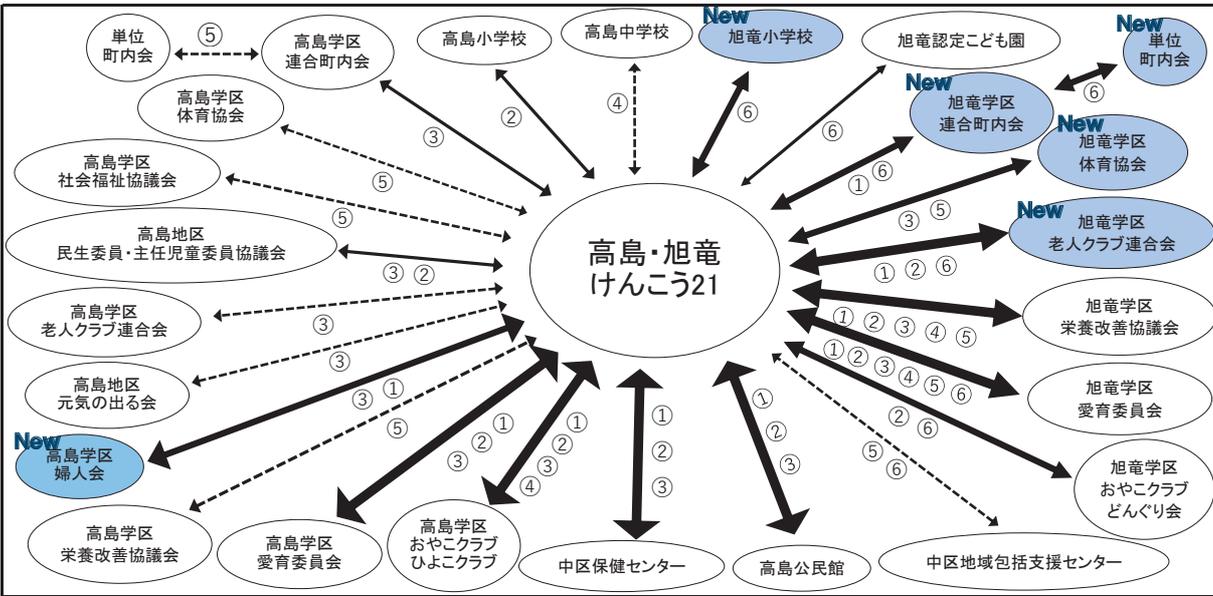
今後の目標：～住み慣れた“香和”でいつまでも自分らしく暮らしていきたいとみんなが思える地域づくり～

イベントの周知方法等を工夫しながら、できるだけ多くの人に香和会議の活動を知ってもらいたい。そして、様々な年齢層の方との交流ができ、関わりの中から元気をもらうことができる活動の場を提供できる健康香和にしていきたい。そのためにも、様々な組織とつながり、様々な視点からの意見をもとに活動できる会にしていきたい。

# 組織関係図

実施日 ( 令和4年10月24日 )

実施地域 高島中学校区 組織名 (実施者) 高島・旭竜けんこう21 ( 中区 ) 保健センター



- つながりの内容
- ①高島・旭竜21に参加
  - ②健康講座
  - ③ウォーキング
  - ④21イベント
  - ⑤間接情報共有
  - ⑥広報活動

それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成23年度最終評価 (H24年3月末時点)	0	1	4	4	9
平成28年度中間評価 (H29年3月末時点)	4	2	13	4	23
令和4年度最終評価中間評価 (R4.10月末時点)	8	4	6	7	25

### つながりの変化

学区内の高島幼稚園の廃園、高島・旭竜エコミュージアムの解散等、協力をして頂いていた団体が少なくなった。コロナの影響により、活動が出来ず、他団体との連携の機会が少なくなった。その為、レベル3が減になり、レベル1(働きかけている)が連携がとれていないが増えた。

### 作成してみたの感想、成果や今後の課題

目標となる大きな行事が無いので、地域に声をかけて活動する事が出来ない。その為、地域の他の団体との共同体が作れなくなっている。しかし、中学校区内の高島学区と旭竜学区のけんこう21は、以前より協力しあって活動している。今後も力を合わせて活動して行きたい。

## 高島・旭竜けんこう21

発足時期:平成15年度

緑が多く自然豊かな高島中学校区で高島・旭竜けんこう21は活動しています。いろいろな団体の協力を得ながら、地域の健康づくりを目的に活動を進めています。



ええとこ発見図ウォーキング

地域の方々への健康づくり活動として、高島公民館で「健康啓発パネル展」を開き、それに合わせて「健康計測コーナー」を設けています。来場者に血管年齢などの計測を体験してもらい、いつも好評です。体力づくりの活動としては「ええとこ発見図ウォーキング大会」の企画、運営をしています。



健康計測コーナー



石けんづくり体験会

さらに、子ども達への活動として、平成25年から高島小学校3年生を対象に、アルコール授業を継続して行っています。また新型コロナ流行後、「親子のふれあい、友達とのリフレッシュタイム」として新たに石けんづくり体験会を夏休みに毎年開催しています。



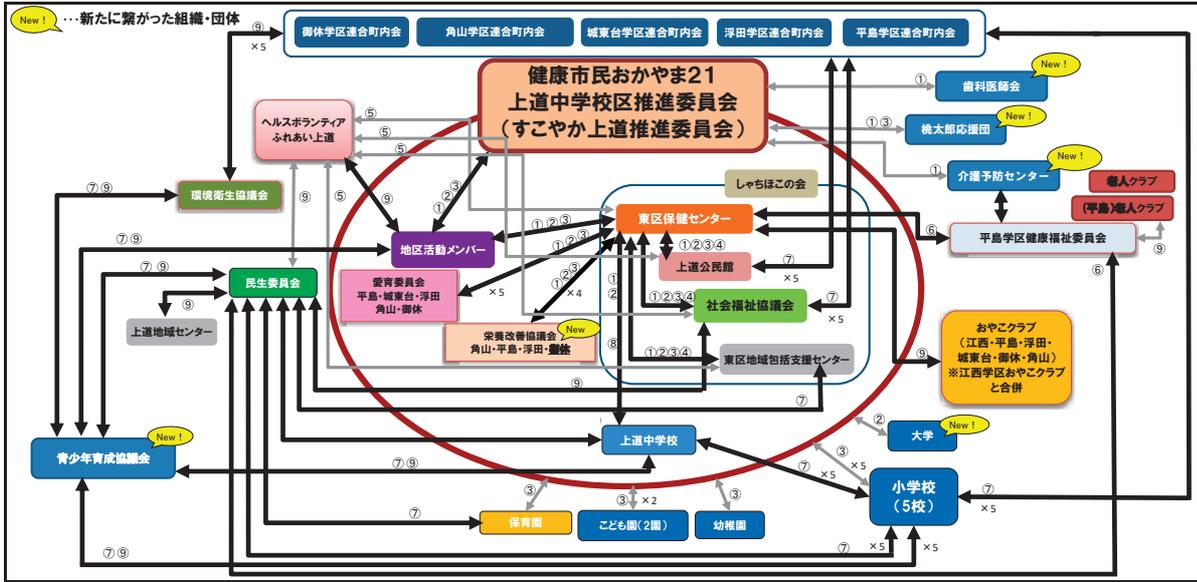
アルコール授業

今後の目標は、高島小学校区と旭竜小学校区の住民のふれあいに発展するよう、愛育委員会をはじめ、他の団体の方々との協力しながら地域の健康づくりに貢献できる活動を進めて行きます。

# 組織関係図

実施日 ( 令和1年1月12日 )

実施地域 組織名 (実施者)  
 上道中学校区 健康市民おかやま21 上道中学校区推進委員会(すこやか上道推進委員会) (東区) 保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成23年度最終評価 (H24年3月末時点)	10	0	8	11	29
平成28年度中間評価 (H29年3月末時点)	0	0	7	58	65
令和4年度最終評価中間評価 (R4.1月末時点)	0	0	19	63	82

### つながりの変化

● 関係団体の数が増え、平成29年度に立ち上がっている。  
 ● おやこクラブは、令和3年度に平島・浮田・御休・角山学区、令和4年度から城東台学区が江西学区と合併しており、合併後はすこやか上道推進委員会に所属していないため、現在はすこやか上道推進委員会のメンバーからは外れている。  
 ● 青少年育成協議会はすこやか上道推進委員会の立ち上げの際となった組織であること、また現在もメンバー同士の間が密であり、今後すこやか上道推進委員会の構成メンバーに加わってもらいたいとの意向から、新たに記載。  
 ● 令和3年度の情報提供作成時に、介護予防センターとの連携があり、新たに記載。  
 ● 令和4年度のワーキング大会に向けて、歯科医師会と桃太郎応援団との連携があり、新たに記載。  
 ● 組織立ち上げ当初からイベント実施の際に大学と連携があり、中間評価時の関係図への記載が漏れていたため、新たに記載。  
 ①すこやか上道推進委員会 ②上道健康フェスタ(歯と口の健康週間コンクール含む) ③えすとこウォーキング  
 ④しゃほこの会 ⑤上道元気のてら ⑥平島小地域ケア会議 ⑦地域のみまもり活動 ⑧学校保健委員会  
 ⑨日頃のつながり、その他

### 作成してみたの感想、成果や今後の課題

組織関係図を見直すにあたり、すこやか上道推進委員会の成り立ちについて振り返った。すこやか上道推進委員会は、20年前に青少年育成協議会と関わっていたメンバーで構成されている。現在も青少年育成協議会時代の個人の繋がりが残っており、地域のことをよく知っているメンバーが各々で地域の見守りを行っている。中間評価時に作成した組織関係図を改めて見ると、実際につながりがある組織とつながりが薄い組織を正確に区別し直した方が良いという意見があり、今回の形にまとまった。また、今後活動の輪を広げるべき組織が明確化できるよう心掛けた。全体的に個人同士でのつながりはあるが、組織として繋がっている実感が少ないとの意見あり。今後は、個人同士ではなく組織同士で関係を強化できるよう取り組んでいきたい。手始めに、青少年育成協議会もすこやか上道21推進委員会のメンバーに加えられるよう働きかけていくこととする。また、子ども達を育成していく活動に取り組む中で、再度おやこクラブも加えて一緒に活動ができるよう模索していく。

第2章 健康市民おかやま21(第2次) 最終評価の概要

## すこやか上道推進委員会

＜活動内容＞  
役員会：随時  
定例会：年間4～5回

＜発足時期＞平成25年度

＜主な活動場所＞  
上道公民館、上道中学校

「はばたけ!!上道健康フェスタ」  
中国学園大学の協力のもと、中学生も参加して、食をテーマに世代を超えた健康づくりの場となりました。

食育SATシステムを使ったワークショップ

「上道ええとこウォーキング」  
子どもから高齢者まであらゆる世代の参加者と一緒に小鳥の森周辺を歩きました。

みんなでOKAYAMA! 市民体操を実施

「健康情報誌の作成&全戸配布」  
すこやか上道推進委員会の活動や地域の方が取り組んでいる生活上の工夫について啓発しました。

コロナ下での活動

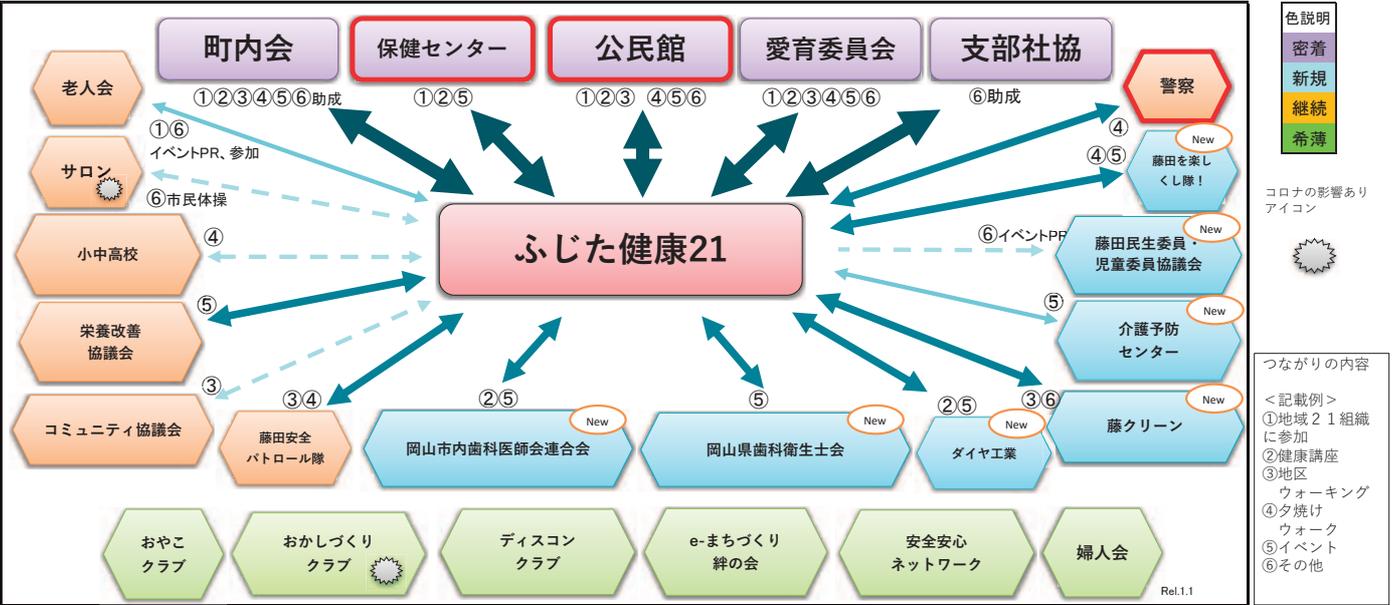
令和4年度は桃太郎応援団と初コラボ!

＜今後の目標＞  
これからも元々あるつながりを大切にしながら、組織間・世代間の垣根を越えてつながっていきける地域を目指したい

# 組織関係図

実施日 ( 令和4年12月6日 )

実施地域 藤田中学校区 組織名 (実施者) ふじた健康21 ( 南区西 ) 保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成23年度最終評価 (H24年3月末時点)	2	2	9	5	18
平成28年度中間評価 (H29年3月末時点)	3	2	9	5	19
令和4年度最終評価 (R4.12月末時点)	4	2	8	5	19

## つながりの変化

- ・21メンバーが団体を組織又は所属していたが、高齢等の理由で脱退したため、つながりが希薄になった。
- ・コロナの感染拡大の影響を受け、会が閉会した。
- ・健康講座やイベントを通してつながりが増えた。

## 作成してみたの感想、成果や今後の課題

- ・21主催でイベントを実施することはメンバーとして達成感がある。楽しめる活動が増えると、メンバーを起点につながりが増え、21の活動が活発になるので、今後も増やしていきたい。
- ・自分以外のメンバーの所属を知る機会になった。
- ・つながりの変化を振り返る中で、組織の脆弱性に気づいた。会のシステム作りの検討が必要に思う。(課題は、若い人たちが参加しにくいこと、組織からメンバー選出がないと、メンバー減少につながり、21の活動継続がしにくい)
- ・藤田は、交通の便が悪く車が無いと住民は動きにくいので、21の活動を各小学校区に広げていく必要がある。
- ・つながりを広げるためには、21のイベントPRだけでなく、他組織・団体のイベントや会議に顔を出すことが大切だと思った。

# ふじた健康21推進委員会

定例会 第一火曜日  
活動場所 藤田公民館  
会員数 17名  
(令和5年9月30日現在)

発足時期：平成17年

## 地区ウォーキングで歩く

地区めぐり 歴史と絆 深めつつ



年4回藤田各地区を舞台に楽しくウォーク。昔話から最新情報まで会話の花が咲きます。

## 定例会で企画する

月一回 藤田の健康 思索する



次は何をしようかなあ。定例会で頭をひねりまくります。

## 健康講座でより深める

6分野 地域に根差し 活動す



年数回、毎回テーマを変えて行う健康講座。広大な藤田地区をくまなく健康にするためコンパクトな出張健康講座を続々と企画しています。

## 夕焼けウォークで交流する

カレー思い 夕焼け眺め 歩く道



幼児から人生の熟練者まで、みんなのご褒美は地元特産品たっぷりのふじたベジタブルカレー。暑い夏を元気に乗り切ろう。

## 市民体操で元気充電

ももちゃんに なりきり踊る 市民体操



定例会や主催講座の最後にはみんなで元気の充電。市民体操で団結力アップ。

## 健康学びの森で学ぶ

集大成 コーナーめぐり みな健康



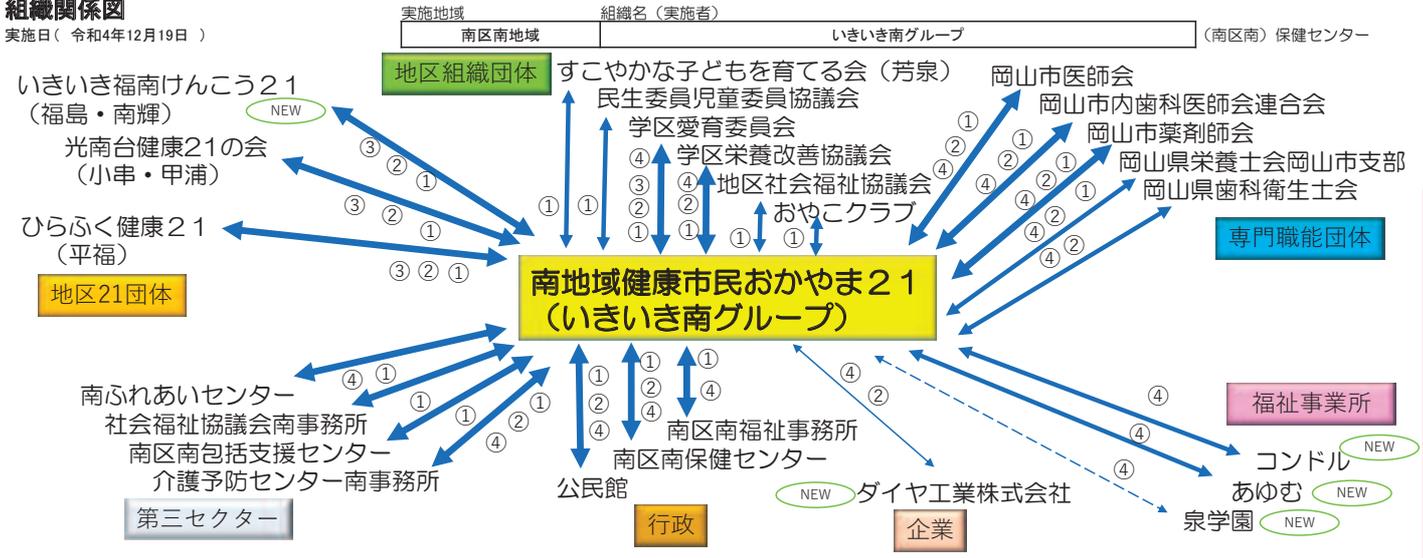
公民館まるごと使った内容たっぷりの学びの森。みんなの協力で藤田地区の健康増進間違いなし。

## 今後の目標

人とのつながりを大切に、より住民に身近な場所に出向き、健康づくりを通して地域を盛り上げていきたい。

**組織関係図**

実施日(令和4年12月19日)



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成28年度中間評価(H29年3月末時点)	14	2	65	55	136
令和4年度最終評価中間評価(R5年3月末時点)	1	1	8	15	25

- つながりの内容**
- ① 地域21組織に参加
  - ② 健康講座等
  - ③ ワーキング
  - ④ 21イベント

- 矢印の線の太さ**
- レベル1
  - レベル2
  - レベル3
  - レベル4

**感想**

\*平成28年度と令和4年度の評価について、組織関係図が異なるためつながりの状況に差が生じております。つながりが少なくなった訳ではありません。

- ・後半部分は新型コロナの影響で活動がほとんど制限されましたが各団体が工夫をしてできる活動を継続できた。
- ・他の地域での成功事例を参考に企業連携を構築することができた。
- ・令和3年度から「いいきき福南けんこう21」を立ち上げ、地元活動を活性化できた。
- ・第一次から今までの結果が評価され「健康21アワード」の受賞をいただき今後のモチベーションアップにつながった。

第2章 健康市民おかやま21(第2次) 最終評価の概要

# いいきき南グループ アワード受賞

**新型コロナ感染症の流行期であっても活動は継続しました!**

**令和2年度:健康ひろばが開催できないなら、こちらからリーフレットを作成して情報発信すればいいのだ!!**

**令和3年度:コロナ禍でフースは出せなかったけど、講演会にて「コロナ禍での香取り」のお話をいただきました**

**令和4年度:骨密度測定、フース出店などコロナ前のさわやか健康ひろばに一步近づきました**

**令和元年度:第1次健康市民おかやま21からの活動を評価していただきました。いままで活動に携わって頂いた方々ありがとうございます!!**

**定例会では専門職(医師・歯科医師・薬剤師)による「勉強会」を開催しました**

すべての世代が住み慣れた地域で安心して最後まで暮らしていけるように持続可能な健康づくり活動を目指します!